

■「予防接種後の急性散在性脳脊髄炎による後遺症が改善したケース」

日本ホメオパシーセンター韓国ホンソン

JPHMA認定ホメオパス No. 0957

JPHMA認定アニマルホメオパス No. A0127

ZENメソッド修得認定 No. 0367

JPHF認定インナーチャイルドセラピスト No. 0225

長谷川 希生（はせがわ きせい）

対象：34歳 男性

【目的】 慢性疲労のある状態での予防接種、その後に罹った脳脊髄炎で入院、ステロイド治療を経て後遺症の痺れとステロイドの副作用の浮腫の症状が改善したケースを紹介したい。

【主訴】 急性散在性脳脊髄炎（ADEM*）後遺症の痺れ、体力のなさ、健康に対する不安感
主な症状：首が動くたびに痺れる。肩が重く、腕は疲れると痺れる。手と脚が痺れる。顔の浮腫み。

その他の症状：鼻が詰まり。ステロイド服用中に皮膚湿疹。いつも疲れている。口内炎ができやすい。

【今まで使用してきた薬など】 ステロイド、痺れ緩和剤、ビタミンB,C,D ワクチン（BCG, B型肝炎、ポリオ、MMR、DPT、破傷風）

【今までかかった病気】 急性散在性脳脊髄炎（ADEM）

【事故、怪我】 膝をケガして、手術

【家族の病歴】 母：高血圧、脳卒中、糖尿 父：健康 母母：脳卒中

母父：不明 父母：健康 父父：不明

【体質】 肉類、揚げ物、甘いものが好き。冬は嫌い。朝は体調が良い。寝る時間は不規則で起きる時間が4時か6時。汗はあまりかかず、水はあまり飲まない。楽な服が好き。運動が好き（特にサッカー）幼いころから体が冷たく、手足は常に冷たい。

【性格】 幼いころは静かな性格で、現在も小心者で人と対話するのが苦手。周りの人は「優しい人」とほめてくれるが実は何のとりえもない人とみられているのかも。家事することへのストレス。家族の生計をどう安定させるかが心配。育児が一番重要なこと。憂鬱になるとうつ渦にはまる感じ。趣味はサッカー。今までで一番衝撃だったことはADEMにかかったこと。死ぬかと思った。

【タイムライン】

胎児期： また娘だったら出産を反対されると心配して妊娠5か月まで妊娠を隠していた。

出産： 病院で、陣痛促進剤、鎮痛剤使用。 粉ミルク、静かな赤ちゃん。

幼児期から母親が仕事でほとんど養育をしていず、叔母に育てられた。

20歳くらいまで叔母が自分の母親だと思っていた。

9歳 膝をケガして縫う。

高校3年生：常に体が重く疲れていた、慢性疲労

32歳 破傷風ワクチン接種

33歳 B型肝炎ワクチン 1次、2次、3次 接種

34歳 ADEM* 急性散在性脳脊髄炎にかかる 入院

*** ADEM : acute disseminated encephalomyelitis (急性散在性脳脊髄炎)**

Q1 : 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) とはどんな病気ですか？

A1 : ウイルス感染後やワクチン接種後に生じるアレルギー性の脳脊髄炎です。一般的に単相性の経過をとりますので原則的に再発はしません。(中略)

Q2. 何が原因なのですか？

A2 : 原因別に **1) 感染後ADEM**、**2) ワクチン接種後ADEM**、**3) 特発性ADEM**があります。1) の**感染後ADEM**は、発疹性ウイルス(麻疹、風疹、水痘・帯状疱疹など)、ムンプスウイルス、インフルエンザウイルスに感染した後に発症することが多いとされています。他にEBウイルス、コクサッキーウイルス、アデノウイルス、単純ヘルペスウイルス等のウイルス、マイコプラズマ、キャンピロバクター、溶連菌などに引き続いて発症することもあります。一般的には気道、消化管感染症などの後に起こりますが、起炎病原体を同定できないことが多いようです。2) の**ワクチン接種後ADEM**は、種痘、狂犬病、麻疹、日本脳炎、インフルエンザ、百日咳、ジフテリア、破傷風、ムンプス、B型肝炎等のワクチン接種後に引き続いて発症するものです。

3) の**特発性ADEM(idiopathic ADEM)**は、感染症やワクチン接種などの病歴がなく、明らかな誘因がないものです。<http://www0.nih.go.jp/vir1/NVL/WhatADEM.htm> 引用

< 1回目相談会 2017. 4. 19 >

随時：サポートφ神経 +Ferr-p. 12X +Cocc. 6C +Nat-s. 12X +Arn. 6C +Blessing

500mlの水に10滴

朝 : Calc. LM1 コップ2cmの水に2滴 20回かき混ぜる

昼 : Tub. LM2 +Hepat-B-V 6c コップ2cmの水に2滴 20回かき混ぜる

夜 : Lyc. LM3 コップ2cmの水に2滴 20回かき混ぜる

※Ferr-p./リン酸鉄、Cocc./アオツヅラフジ、Nat-s./硫酸ナトリウム、Arn./ウサギギク

Blessing/ブレッシング、Calc./炭酸カルシウム、Tub./ノゾース、Hepat-B-V/薬剤レメディー

Lyc./ヒカゲノカズラ

【TBR】：上記の症状に対しTBR（The Bonnighausen repertoryの略）を使って検索

1：224# 1. 部位 - 2. 胴 - 1. 首(および喉) - 首 - 背側(うなじ)：

2：1159# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 弱さ(無力症、無気力、衰弱)：- 神経の(神経衰弱症)：

3：2178# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - かがむ(頭や体を前に曲げる)ことから：

4：1080# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 変質した感覚(感覚異常、偽性感覚)：- ちくちく感(痺れのびりびり感) - 一部分にまるで痺れて無感覚になったような(痺れのびりびり感)：

5：1045# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 麻痺(痺れ) - 体肢(部分)の：

6：1081# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 感覚鈍麻(低感覚、無感覚)：

7：2078# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 中毒 - 水銀の乱用による：

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Calc.	7	21	4	3	4	3	3	1	3		
2	Rhus.	7	20	4	2	2	3	4	3	2		
3	Puls.	7	20	4	4	2	3	1	3	3		
4	Cocc.	7	19	1	1	3	4	4	4	2		
5	Chin.	7	19	3	4	2	3	2	2	3		
6	Sulf.	7	19	3	3	1	3	3	2	4		
7	Lyc.	7	19	3	2	1	4	2	4	3		
8	Nux-v.	7	18	4	4	1	3	3	2	1		
9	Bell.	7	17	3	3	1	1	3	3	3		

サポートφ神経：神経のサポート、脳神経、視神経の影響、脳の障害、ホルモン剤の影響に。

Ferr-p.：炎症に。肝臓の働きを高める。

Cocc.：斜頸の時に使うレメディー。痙攣性、神経に。脳の負傷に。

Nat-s.：脳細胞、頭の負傷に。

Arn.：負傷、血液循環、体が大丈夫でないのに大丈夫だという。

Blessing：霊的な保護、カルマ、インナーチャイルドに

Calc.：TBR1位 免疫強化にも。

Tub.：免疫疾患

Hepat-B-V：B型肝炎接種後にADEMに罹ったことから

Lyc.：TBR7位。ワクチンの影響を取るためにも。自尊心が低く自信がない。自分に対しての怒りがある。CK 56 「激怒、一部は自分自身に、一部は他者に対して。」

食事のアドバイス：生のえごま油を勧める。油物が好きということだが、神経は脂質が必要、神経を強化していくためには良質な脂が必要。

コーヒーの回数を減らす：コーヒーは甘いから飲みたい。コーヒーの味が好きで飲んでいるわけではなく 習慣的に飲んでいるためコーヒーの摂取を減らすよう指示。甘いもの(砂糖)は脳に刺激を与えるとともにカルシウムなどのミネラルの消耗を促す。

インナーチャイルドへのアドバイス：幼少期のころからの愛情不足、そのため母親への怒り。愛されない自分は悪いという、自分への怒りが強くあるため、できない自分、頑張っていない自分を許すようにとアドバイス。自分のことや健康に対して無頓着で無関心、自分が何を感じでど

こが調子悪いのかよくわかっていなこともあり、自分を愛する実践として、疲れたら眠たいと思っている自分を許し寝ること。レメディをパートナーに入れてもらって飲むのではなく自分で自分のために入れて飲むようにアドバイスをする。

<2回目 相談会 2017/7/3>

経過：口内炎ができた。発疹がなくなる。基礎体力がついてきて痺れが改善してきた。一番ひどいときが100%としたら20-30%くらいになった。

首が動くたびに痺れる⇒改善、肩が重い⇒まだ少しある、腕は疲れると痺れる⇒ほとんど痺れなくなった、手が随時痺れている⇒ほとんど痺れなくなった、脚の痺れ⇒疲れた時に痺れる、顔の浮腫み⇒少し改善

甘いものあまり食べたいと思わなくなった。コーヒーの回数も減った。いつも疲れていて24時間寝ていたい。

2回目のレメディ

随時1： サポートφ腎臓 +Nit-ac. 6c +Cycl. 200c +Lit-m. 12x +St-PSL-D30c +Blessing

随時2： MT) Borago

朝： Sulph. LM2 +Calc. LM2 +Ruby. 200 c

昼： Carc. LM3 +Thym-gl. LM3

夜： Lyc. LM4 +Puls. LM4

※Nit-ac./硝酸、Cycl./シクラメン、Lit-m./塩化リチウム、St-PSL-D/薬剤レメディ、Blessing/ブレッシング、Borago/ルリジサ、Sulph./硫黄、Calc./炭酸カルシウム、Ruby./ルビー、Carc./ノゾース、Thym-gl./胸腺、Lyc./ヒカゲノカズラ、Puls./セイヨウオキナグサ

1： 1159# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 弱さ(無力症、無気力、衰弱)： - 神経の(神経衰弱症)：

2： 1080# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 実質した感覚(感覚異常、偽性感覚)： - ちくちく感(痺れのびりり感) - 一部分にまるで痺れて無感覚になったような(痺れのびりり感)：

3： 280# 1. 部位 - 3. 体統 - 2. 下肢 - 大腿部： - 後面：

4： 288# 1. 部位 - 3. 体統 - 2. 下肢 - 脚： - 後面(ふくらはぎ[腓腓部])：

5： 293# 1. 部位 - 3. 体統 - 2. 下肢 - 足： - 足底(足の裏)：

6： 1158# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 弱さ(無力症、無気力、衰弱)： - たるさ(倦怠感、疲労や飽き-退屈を感じること)：

7： 1081# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 感覚鈍麻(低感覚、無感覚)：

8： 2078# 4. 茎調 - 1. 茎調 - 5. 状態および状況から - 中毒 - 水銀の乱用による：

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sulf.	8	26	3	3	4	4	4	2	2	4	
2	Puls.	8	26	4	3	1	4	4	4	3	3	
3	Lyc.	8	23	2	4	3	3	2	2	4	3	
4	Calc.	8	22	3	3	2	4	3	3	1	3	
5	Graph.	8	22	2	4	3	4	3	2	2	2	
6	Rhus.	8	21	2	3	2	4	2	3	3	2	
7	Chin.	8	21	4	3	1	3	3	2	2	3	

サポートφ腎臓：腎臓のサポート。慢性疲労、コーチゾールなどホルモンの問題。

MT) Borago：ステロイド使用後の回復に

Nit-ac.：自分に対する怒り

CK38「非常に不機嫌で自分に腹を立てている。」 CK41も自己への立腹。

Cycl.：罪意識 RA191「心痛と、良心から生じる不安、まるで自分の義務を果たして
いないかのよう、もしくは犯罪を犯したかのよう」

Lit-m.：薬の影響で神経疲労。アルミの影響を取るのにも。

St-PSL-D：ステロイド

Sulph.：TBR1位

Calc.：TBR4位

Carc.：免疫低下。活力がない。

Puls.：TBR 2位。予防接種の影響に。

Ruby：みぞおち、第3チャクラ、怒り、アルミの解毒、自尊心、自信の不足、
Lycと共に使用。

Thym-gl.：免疫力に。第4チャクラを開くために。温かい家庭がなかった人。

<3回目の相談会 2017/10/24>

口内炎と皮膚湿疹（肩と腕）があった。顔の浮腫が改善。痺れの症状は無くなった。体の健康に対する不安感がなくなり自信が出てきた。体力がついてきているのを感じる。肩の重い感覚は改善。朝起きてからのだるさの度合いが少なくなった。20代に手足が冷たい自分は何か大きな病気になるのではと心配していたが今はそんなに心配にならない。鼻詰まりは改善。

3回目のレメディー

随時：サポートφ肝臓 +Nit-ac. 6c +Kali-c. 12x +Ph-ac. 6c +Tetan. 200c +Blessing

朝：Calc. LM3 +Sulph. LM3

昼：Carc. LM4 +Thym-gl. LM4

夜1：Con. LM5 +Puls. LM5

夜2：No. 12（視床下部）→ No. 9（副腎皮質）→ No. 3（胸腺）→ No1（性腺刺激ホルモン）
の順に寝る前に一粒ずつ20日間 4種類のレメディーを順番に5サイクル
（*ロジーナ博士のホルモンケア）

※Nit-ac./硝酸、Kali-c./炭酸カリウム、Ph-ac./リン酸、Tetan./ノゾース、
 Blessing/ブレッシング、Calc./炭酸カルシウム、Sulph./硫黄、Carc./ノゾース、
 Thym-gl./胸腺、Con./毒ニンジン、Puls./セイヨウオキナグサ

1：1159# 3.全般 - 3.全般 - 1.全般 - 弱さ(無力症、無気力、衰弱)： - 神経の(神経衰弱症)：

2：821# 3.全般 - 2.睡眠 - 1.睡眠 - 爽快にならない：

3：687# 2.系統 - 6.体温調節 - 2.冷たさ - 単一部分：

4：1158# 3.全般 - 3.全般 - 1.全般 - 弱さ(無力症、無気力、衰弱)： - たるさ(倦怠感、疲労や飽き・退屈を感じるこ
 と)：

5：1081# 3.全般 - 3.全般 - 1.全般 - 感覚鈍麻(低感覚、無感覚)：

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Con.	5	16	3	4	3	3	3				
2	Puls.	5	15	4	1	3	4	3				
3	Sulf.	5	15	3	4	4	2	2				
4	Rhus.	5	14	2	2	4	3	3				
5	Chin.	5	14	4	3	3	2	2				

サポートφ肝臓：肝臓のサポート、薬の影響を取り除く作用を高める

Tetan.： 神経の問題、破傷風のワクチンの影響に

自分の病気への恐れと不安に： Nit-ac. CK5、Kali-c. CK15、Ph-ac. CK4

Sulph.： 介入レメディーTBR3位

Con.： TBR1位、

Puls.： TBR2位

<経過>

体力もつき、朝も目覚めがすっきりし起きられるようになる。昼寝もあまりしなくなった。

【考察】

予防接種の副作用で出てきた ADEMの症状をステロイドで処置し、ステロイドの副作用の症状（ムーンフェイス）と ADEM 後遺症の痺れの症状が3回の相談会で改善した。もともとこの方は慢性疲労が高校生のころからあり、体が冷たく生育過程においても愛をたくさん受けてこなかったことから免疫力が低下している状態であった。自分に対する理想、こうであらねばならないといかに自分自身がはまっていないことへの怒りが強く、自己卑下、自尊心のなさが見られた。自分を責めることで霊性が生まれた時よりも低くなり副腎が侵されていたのではないかと推測する。そのような状態で予防接種をすることで副作用が発症し、ADEM に罹り死に直面したのではないかと考える。胎児期から自分の存在自体を否定されたため本来の自分を生きることができていないことも影響していると考え。霊的な側面、インナーチャイルド、薬害、食べ物などの側面を同時に刺激することで回復し自信を取り戻せたのではないかと考える。



カテゴリー： [医原病・薬害]